

重要な形質の指定に関する説明資料

食料産業局

平成 2 6 年 1 2 月 1 日

農林水産省

諮問植物一覧

1. 区分を新設するもの

- ① ぎんようアカシア
- ② しろいぬなずな
- ③ やぶこうじ
- ④ ブルネラ
- ⑤ おおしまかんすげ
- ⑥ おきなわもずく
- ⑦ エレモフィラ
- ⑧ エウコミス
- ⑨ フェスツカ グラウカ
- ⑩ ねずみもち
- ⑪ リシマキア コンゲスティフロラ
- ⑫ メラレウカ ブラクテアタ
- ⑬ オゾタムヌス ディオスミフォリウス
- ⑭ ペンニセツム セタケウム
- ⑮ ペペロミア
- ⑯ ひめつるそば
- ⑰ センペルウィウム
- ⑱ ソラナム ペルウィアナム

(改正)

2. UPOVテストガイドラインへの準拠等により改正するもの

- ① すいか
- ② あわ
- ③ ヒペリクム

3. 審査の運用の結果等により改正するもの

- ① こまくさ
- ② アストランティア マヨル
- ③ トルコぎきょう
- ④ プリムラ(在来さくらそうを除く)
- ⑤ てんにんぎく
- ⑥ おしろいばな

1. これまでに出願のなかった植物種類について、審査の必要上から審査基準を作成するため、区分を新設するもの

- ① ぎんようアカシア
- ② しろいぬなずな
- ③ やぶこうじ
- ④ ブルネラ
- ⑤ おおしまかんすげ
- ⑥ おきなわもずく
- ⑦ エレモフィラ
- ⑧ エウコミス
- ⑨ フェスツカ グラウカ
- ⑩ ねずみもち

- ⑪ リシマキア コンゲスティフロラ
- ⑫ メラレウカ ブラクテアタ
- ⑬ オゾタムヌス ディオスミフォリウス
- ⑭ ペンニセツム セタケウム
- ⑮ ペペロミア
- ⑯ ひめつるそば
- ⑰ センペルウィウム
- ⑱ ソラナム ペルウィアナム

1. 区分を新設するもの

① ぎんようアカシア

(学名 : Acacia baileyana F. Muell.)

改 正 案	現 行
樹姿、樹高、分枝の発生の多少、新しょうの色、節間長、葉の長さ、葉の幅、羽片の長さ、羽片の幅、羽片の形、小葉の長さ、小葉の幅、新葉の表面の色、成葉の表面の色、成葉の裏面の色、成葉の斑の有無、花序の長さ、花序の幅、花序の形、花房の直径、花房の色、開花期 ※ 本区分の新設に関連し、区分「アカシア(アカシア コグナータを除く。)」は廃止。	なし  *

1. 区分を新設するもの

② しろいぬなずな

(学名 : *Arabidopsis thaliana* (L.) Heynh.)

改 正 案	現 行
種子の色、株幅、花茎の長さ、花茎の太さ、花茎の節数、花茎の一次側枝の多少、花茎の一次側枝の着生角度、花茎の基部のアントシアニンの着色、花茎の屈曲の有無、ロゼット葉の長さ、ロゼット葉の幅、ロゼット葉の切れ込み、花序の上部の形、花型、花の大きさ、開花始期、暗所で発芽した子葉の色、連続日長の要求性	なし 

1. 区分を新設するもの

③ やぶこうじ

(学名 : *Ardisia japonica* (Thunb.) Blume)

改 正 案

樹高、当年枝の主な色、新葉の表面の主な色、新葉の斑の有無、新葉の斑の模様、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の形、葉縁の鋸歯の粗密、葉縁の鋸歯の切れ込みの深さ、葉縁の波打ち、葉身の表面の凹凸、葉身の表面の光沢の強弱、葉身の表面の主な色、葉身の斑の有無、葉身の斑の模様、葉身の斑の色、葉柄の長さ、花冠の直径、花冠裂片の表面の主な色、花冠裂片の表面の二次色の有無、花冠裂片の表面の二次色、花冠裂片の形、果実の長さ、果実の直径、果実の縦断面の形、果実の主な色、小果柄の長さ

現 行

なし



*

1. 区分を新設するもの

④ ブルネラ

(学名 : Brunnera Steven)

改 正 案	現 行
葉群の高さ、株幅、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の表面の地色、葉身の表面の地色が占める大きさ、葉身の表面の二次色の有無、葉身の表面の二次色、葉身の表面の二次色の分布、葉身の表面の三次色の有無、葉身の表面の三次色、葉身の表面の三次色の分布、葉身の裏面の主な色、葉身の裏面の二次色の有無、葉身の裏面の二次色、葉身の裏面の二次色の分布、葉柄の長さ、葉柄の太さ、葉柄のアントシアニン着色の有無、葉柄のアントシアニン着色の強弱、花茎の長さ、花茎の太さ、花冠の直径、花冠の表面の主な色、副花冠の主な色	なし
	

1. 区分を新設するもの

⑤ おおしまかんすげ

(学名 : *Carex oshimensis* Nakai)

改 正 案

草姿、草丈、葉群の高さ、株幅、花茎の数、花茎の長さ、葉身の外曲の強弱、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の緑色部の色、葉身の斑の有無、葉身の斑の模様、葉身の斑の色、葉身の斑の面積、葉身の中肋の色、雄小穂の長さ、雄小穂の幅、雄小穂の褐色の濃淡、雌小穂の長さ、雌小穂の幅、出穂期

現 行

なし



*

1. 区分を新設するもの

⑥ おきなわもずく

(学名 : Cladosiphon okamuranus Tokida)

改 正 案	現 行
軸の長さ、軸の太さ、側枝の粗密、軸の褐色の濃淡、軸の硬さ、ぬめりの多少、収穫期の早晩、高水温適応性	なし 

1. 区分を新設するもの

⑦ エレモフィラ

(学名 : Eremophila R. Br.)

改 正 案	現 行
樹型、樹姿、樹高、樹幅、茎の毛の粗密、茎のとげの有無、葉の型、葉の姿勢、葉序、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の形、葉身の先端の形、葉身の基部の形、葉身の主な色(毛を除く。)、葉身の周縁の形、葉身の周縁の波打ちの有無、がくの毛の多少、花冠の型、花冠の大きさ、花冠の向き、花冠の内面の主な色、花冠の外面の主な色、花冠の内面の模様の有無、花冠の先端部の形、花冠の毛の多少、雄ずいの数、花柱の長さ、開花始期	なし  *

1. 区分を新設するもの

⑧ エウコミス

(学名 : Eucomis L'Her.)

改 正 案	現 行
草姿、草丈、株幅、葉の長さ、葉の幅、葉の表面の主な色、葉の表面の二次色の有無、葉の表面の二次色、葉の表面の二次色の模様、葉の表面の二次色の分布、葉の横断面の形、葉の周縁の波打ち、花茎の長さ、花茎の太さ、花茎の色、花茎の斑点の有無、花序の長さ、花序の幅、つぼみの色、花の長さ、花の直径、花の密度、花の向き、花被片の長さ、花被片の幅、花被片の表面の主な色、花被片の表面の二次色の有無、花被片の表面の二次色、花糸の色、子房の色、葉状ほう片の長さ、葉状ほう片の幅、葉状ほう片の表面の主な色、葉状ほう片の表面の二次色の有無、葉状ほう片の表面の二次色、葉状ほう片の表面の二次色の模様、葉状ほう片の表面の二次色の分布、開花始期	なし  *

1. 区分を新設するもの

⑨ フェスツカ グラウカ

(学名 : Festuca glauca vill.)

改 正 案	現 行
草姿、草高、草丈、葉の長さ、葉の色、止め葉の長さ、稈の止め葉から穂の基部までの長さ、穂の長さ、小穂の色、出穂稈の色、出穂期	なし  *

1. 区分を新設するもの

⑩ ねずみもち

(学名 : Ligustrum japonicum Thunb.)

改 正 案	現 行
樹姿、樹高、樹幅、枝の太さ、枝の色、葉身の長さ、葉身の幅、葉縁の波打ち、新葉の表面の主な色、成葉の表面の主な色、葉身の斑の有無、花序の長さ、花序の幅、花冠裂片の表面の色、果実の長さ、果実の直径、果実の色	なし  *

1. 区分を新設するもの

⑪リシマキア コンゲスティフロラ

(学名 : *Lysimachia congestiflora* Hemsl.)

改 正 案	現 行
草型、草丈、株幅、茎の太さ、茎の横断面の形、茎の色、茎のアントシアニンの着色、茎の毛の多少、節間長、新葉の色数、新葉の主な色、新葉の二次色(2色以上の品種に限る。)、新葉の三次色(3色以上の品種に限る。)、葉の色数、葉の主な色、葉の二次色(2色以上の品種に限る。)、葉の三次色(3色以上の品種に限る。)、葉の裏面のアントシアニン着色の有無、葉の先端の形、葉の表面の毛の多少、葉の裏面の毛の多少、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の形、葉柄の長さ、小花柄の長さ、小花柄の色、がくの色、がくのアントシアニンの着色、花冠の直径、花冠裂片の先端の形、花冠裂片の表面の色、花喉部の主な色、花糸の色、花柱の色	なし 

1. 区分を新設するもの

⑫ メラレウカ ブラクテアタ

(学名 : *Melaleuca bracteata* F. Muell.)

改 正 案	現 行
樹姿、樹高、樹幅、枝の毛の粗密、葉序、葉の姿勢、葉の先端部の形、葉の長さ、葉の幅、葉の縦方向の湾曲、葉の横方向のねじれ、新葉の毛の有無、新葉の夏季の色、新葉の冬季の色、成葉の夏季の色、成葉の冬季の色、葉柄の有無	なし 

1. 区分を新設するもの

⑬オゾタムヌス ディオスミフォリウス (学名 : Ozothamnus diosmifolius (Vent) DC.)

改 正 案	現 行
樹姿、樹高、樹幅、枝の太さ、葉の長さ、葉の幅、葉の緑色の濃淡、葉の光沢の強弱、花序の数、花序の高さ、花序の幅、一花序当たりの花の数、つぼみの色、花の長さ、花の幅、総ほうの色、柱頭の色、開花始期	なし
	

1. 区分を新設するもの

⑭ ペンニセツム セタケウム

(学名 : Pennisetum setaceum (Forssk.) Chiov.)

改 正 案	現 行
草型、葉群の高さ、株幅、分けつ数、稈の長さ、葉の数、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の表面の緑色の濃淡、葉身の表面の斑の有無、葉身の表面の斑の模様、葉身の表面の斑の色、葉身の表面のアントシアニン着色の有無、葉身の表面のアントシアニン着色の面積、葉身の表面のアントシアニン着色部の主な色、葉身の裏面の主な色、葉身の裏面の二次色の有無、葉身の裏面の二次色、穂の長さ、穂の幅、穂のアントシアニン着色の有無、穂のアントシアニン着色の面積、小穂の着生の粗密、花柱の色、出穂期	なし  *

1. 区分を新設するもの

⑮ ペペロミア

(学名 : Peperomia Ruiz et Pav.)



*

改 正 案	現 行
草型、草丈、株幅、葉の数(ロゼット型の品種に限る。)、茎の長さ(ロゼット型の品種を除く。)、茎の太さ(ロゼット型の品種を除く。)、節数(ロゼット型の品種を除く。)、節間長(ロゼット型の品種を除く。)、茎の緑色の濃淡(ロゼット型の品種を除く。)、茎のアントシアニン着色の有無(ロゼット型の品種を除く。)、茎のアントシアニン着色の面積(ロゼット型の品種を除く。)、葉序(ロゼット型の品種を除く。)、葉の着き方、葉の向き(ロゼット型の品種に限る。)、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の長さ／幅、葉身の形、葉身の先端部の形、葉身の基部の形、葉身の横断面の形、葉身の表面の光沢、葉身の表面の凹凸、葉身の毛の多少、新葉の表面の主な色、新葉の表面の二次色(2色以上の品種に限る。)、新葉の表面の二次色の分布(2色以上の品種に限る。)、成葉の表面の色数、成葉の表面の主な色、成葉の表面の二次色(2色以上の品種に限る。)、成葉の表面の二次色の分布(2色以上の品種に限る。)、成葉の表面の三次色(3色以上の品種に限る。)、成葉の表面の三次色の分布(3色以上の品種に限る。)、成葉の裏面の色数、成葉の裏面の主な色、成葉の裏面の二次色(2色以上の品種に限る。)、成葉の裏面の二次色の分布(2色以上の品種に限る。)、葉柄の長さ、葉柄の毛の多少、葉柄の色	なし

1. 区分を新設するもの

①6 ひめつるそば

(学名 : Persicaria capitata (Buch.-Ham. ex D. Don) H. Gross)

改 正 案	現 行
草丈、茎の長さ、茎の太さ、節間長、葉の長さ、葉の幅、葉の周縁の波打ち、葉の表面の主な色、葉の表面の斑の有無、葉の表面の斑の主な模様、葉の表面の斑の色数、葉の表面の斑の主な色、葉の表面の斑の二次色(2色以上の品種に限る。)、葉の表面の斑の三次色(3色以上の品種に限る。)、葉の表面の帯状紋の明瞭度、葉の裏面のアントシアニンの着色、花柄の長さ、花柄の太さ、花柄の色、頭状花序の長さ、頭状花序の幅、頭状花序の主な色	なし  *

1. 区分を新設するもの

⑪ センペルウィウム

(学名 : Sempervivum L.)

改 正 案	現 行
草丈、株幅、葉の数、株中心部の葉の粗密、外葉の長さ、外葉の幅、外葉の厚さ、外葉の厚さ／幅、外葉の形、外葉の先端部の形、外葉の縦断面の形、中間葉の表面の複色の有無、中間葉の表面の主な色、中間葉の表面の二次色、中間葉の表面の二次色の分布、中間葉の表面の二次色の面積、中間葉の表面の三次色(3色以上の品種に限る。)、中間葉の表面の三次色の分布(3色以上の品種に限る。)、中間葉の表面の三次色の面積(3色以上の品種に限る。)、中間葉の裏面の複色の有無、中間葉の裏面の主な色、中間葉の裏面の二次色、中間葉の裏面の二次色の分布、中間葉の裏面の二次色の面積、中間葉の裏面の三次色(3色以上の品種に限る。)、中間葉の裏面の三次色の分布(3色以上の品種に限る。)、中間葉の裏面の三次色の面積(3色以上の品種に限る。)、外葉の表面の複色の有無、外葉の表面の主な色、外葉の表面の二次色、外葉の表面の二次色の分布、外葉の表面の二次色の面積、外葉の表面の三次色(3色以上の品種に限る。)、外葉の表面の三次色の分布(3色以上の品種に限る。)、外葉の表面の三次色の面積(3色以上の品種に限る。)、外葉の裏面の複色の有無、外葉の裏面の主な色、外葉の裏面の二次色、外葉の裏面の二次色の分布、外葉の裏面の二次色の面積、外葉の裏面の三次色(3色以上の品種に限る。)、外葉の裏面の三次色の分布(3色以上の品種に限る。)、外葉の裏面の三次色の面積(3色以上の品種に限る。)、親株と比較した子株の葉の色の類似性、中間葉の表面の毛の粗密、中間葉の裏面の毛の粗密、中間葉の葉縁の毛の長さ、中間葉の頂端の毛の長さ	なし



1. 区分を新設するもの

⑱ ソラヌム ペルウィアヌム

(学名 : Solanum peruvianum L.)

改 正 案	現 行
胚軸のアントシアニン着色の有無、草姿、心止まり性(心止まり品種に限る。)、茎のアントシアニンの着色、節間長(普通品種に限る。)、葉の着生角度、葉の長さ、葉の幅、葉の欠刻、葉の上面の膨らみの強弱、小葉の大きさ、小葉の緑色の濃淡、小葉の着生角度、花房の型、花の帯化の有無、花の色、果柄の離層の有無、果柄の長さ(果柄に離層がある品種に限る。)、果実の大きさ、果実の縦径／横径、果実の縦断面の形、果実の肩部のひだ、果実の横断面の形、果実のこうあ部のくぼみ、果実のへた落ちの大きさ、果実の花落ちの大きさ、果実の頂部の形、果実の緑色の濃淡、果実の色、果実のアントシアニン着色の有無、果肉の厚さ、果実の子室数、果肉の色、果実の心の大きさ、果実の硬さ、棚持ちの良さ(生食用品種に限る。)、開花の早晩、完熟の早晩	なし
	

重要な形質の改正の考え方

(基本的考え方) 国際調和の推進

○UPOVテストガイドラインへの準拠

○UPOVテストガイドラインのない種類については、UPOV一般指針に沿って形質を整理

形質の追加の考え方

① 全く新しい形質

- 近年、新たに育種目標とされるようになった形質（例：高温耐性、カドミウム吸収性）
- 従来はなかった形態（花型、葉の斑の有無等）に関する形質
- 従来はなかった用途への転用により新たに評価が必要となった形質
（例：薬用：薬効成分、根の重量、加工用：製粉適性、観賞用野菜：花の形質）
- 新たに検定方法が確立された病害抵抗性、環境耐性に関する形質

② 日本に特有の要因に起因する特性を評価するための形質

（UPOVテストガイドラインへの準拠改正後に形質追加する場合に限る）

- 日本の気象・土壌等環境で発生する病虫害への抵抗性に関する形質
- 日本の気象・土壌等環境で問題となる生育障害への耐性に関する形質（例：耐冷性、塩害耐性等）
- 日本に特有の用途・利用部位に係る形質（例：かき：脱渋の難易、からしな：葉に関する形質）
- 日本の需用者の嗜好性により選抜された特性に関する形質（例：花卉の複色に関する形質）
- 日本で従来から区別性をみる上で重要であった形質（当該形質のみで区別性をみて登録された品種が存在）

重要な形質の改正の考え方 ②

形質の追加の考え方②

③ 既存の区分(属等)に含まれる新たな種の出願品種の審査に必要な形質

- 既存の種と新たな種の識別に有用な形質
- 新たな種の品種識別に有用な形質

④ 既存形質をより詳細に評価するための形質

⑤ 過去の審査実績が少ない植物に係る形質追加

2. UPOVテストガイドラインへの準拠等により改正するもの

- ①すいか
- ②あわ
- ③ヒペリクム

2. UPOVTGへの準拠等により改正するもの

① すいか

(学名 : Citrullus lanatus (Thunb.) Matsum. & Nakai)



UPOVテストガイドラインに準拠(同テストガイドラインに対する形質の追加・削除はなし。)

*

改 正 案	現 行
倍数性、子葉の大きさ、子葉の形、子葉の緑色の濃淡、葉身の大きさ、葉身の長さ／幅、葉身の色、葉身の切れ込み、葉身の凹凸の強弱、葉身の葉脈の色、果実の重さ、果実の縦断面の形、果実の基部のくぼみ、果実の先端の形、果実の先端のくぼみ、果皮の地色、果皮の脈の明瞭度、果皮の条斑の模様、果皮の条斑の幅、果皮の条斑の主な色、果皮の条斑の明瞭度、果皮の条斑の周縁、果実の果柄付着部の大きさ、果実の雌ずい痕の大きさ、果実の条溝、果実のろう質、外果肉の厚さ、内果肉の主な色、種皮の大きさ(三倍体品種に限る。)、種子の数(二倍体及び四倍体品種に限る。)、種子の長さ(二倍体及び四倍体品種に限る。)、種子の長さ／幅(二倍体及び四倍体品種に限る。)、種皮の地色(二倍体及び四倍体品種に限る。)、種皮の複色の有無(二倍体及び四倍体品種に限る。)、種皮の地色に対する複色の面積(二倍体及び四倍体品種に限る。)、種子のへその斑(二倍体及び四倍体品種に限る。)、雌花の開花期、つる割病抵抗性、炭そ病抵抗性	一 草姿、分枝性【草勢】、子葉の形状【子葉の形、子葉の大きさ、子葉の色、子葉の斑点】、主づるの形状【主づるの長さ、主づるの太さ、主づるの節数、主づるの平均節間長】、葉色その他葉の形状【本葉の形(欠刻の深さ)、本葉の大きさ、本葉の形、本葉の白黄色斑】、葉柄長、雌花の形状【初雌花の着生節位、開葯性の難易、雌花弁先端の形、雌花弁の大きさ】、子房の形状【子房の形、子房の大きさ、子房の毛茸】、果実の色その他果実の形状【果実の形、果実基部の形、果実先端の形、果皮の地色、果皮の網状斑の多少、果皮の条斑の多少、果皮の条斑の太さ、果皮の条斑の色、果皮面の状態、果皮の条溝、花落痕の大きさ】、果重、果こうの形状【果梗接着部の大きさ、果梗の長さ、果梗の太さ、果梗基部の形】、外果肉の厚さ、内果肉の形状及び種子の形状【内果肉の色、果肉の硬さ、果肉の繊維、1果含有種子数、種子の形、種子の大きさ、種皮の亀裂、種皮の地色、種皮の斑紋・斑点】 二 早晚性【早晚性、雌花の開花期、雄花の開花期、成熟日数】、性表現【両生花】、着果の安定性、耐高低温性、耐干湿性、病害抵抗性及び虫害抵抗性【炭疽病抵抗性、蔓割病抵抗性】 三 品質【果肉の食味、果肉の糖度、果肉の多しよ性、果肉の酸味】、裂果性、日持ち及び輸送性 【 】内は、審査基準で細分化して示している調査項目



2. UPOVTGへの準拠等により改正するもの

② あわ

(学名 : Setaria italica (L.) P. Beauv.)

UPOVテストガイドラインに準拠(同テストガイドラインに対する形質の追加・削除はなし。)

改 正 案	現 行
第一葉の先端の形、葉しょうのアントシアニンの着色、葉群の緑色の濃淡、草姿、葉の襟のアントシアニンの着色、出穂期、支持根のアントシアニン着色の有無、葉身の姿勢、穂の硬毛の長さ、穂の硬毛のアントシアニン着色の有無、やくの色、止め葉の長さ、止め葉の幅、止め葉のアントシアニンの着色、稈の長さ、稈の直径、護穎のアントシアニン着色の有無、節間の数、穂の姿勢、穂首の長さ、穂の形、穂の長さ、枝梗の粗密(猿手状の穂を持つ品種を除く。)、一次枝梗の着生粒数、穀粒の千粒重、穀粒の形、穀粒の色、玄穀粒の色(無精白)、胚乳の型	一 草姿【分げつの姿勢(株の開閉)】及び草丈【稈の長さ】 二 茎の形状【茎の支持根のアントシアニン着色の有無、節の数、稈の直径】及び葉の形状【第一葉の先端の形、幼苗葉の葉しょうのアントシアニン着色の強弱、葉群の緑色の濃淡、葉の基部のアントシアニン着色の強弱、葉身の姿勢、止め葉の長さ、葉の幅止め、止め葉のアントシアニン着色の強弱】 三 花の形状【花柄の長さ、穂の姿勢、穂の長さ、穂の形、枝梗の粗密(猿手状の穂を持つ品種を除く。)、二次枝梗の着生粒数、穂の硬毛の長さ、穂の硬毛のアントシアニン着色の有無、やくの色】、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。)及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) 【護穎のアントシアニン着色の有無、穀粒の千粒重、穀粒の形、穀粒の色、玄穀粒の色(無精白)、胚乳の型】 四 品質特性 五 早晚性【出穂期】、ねん性(不ねん現象のあるものに限る。)、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、根部を利用するものにあっては根の形状、主に食用としてデンプン源、タンパク源等として使用するものにあっては収量性、台木用品種にあっては接ぎ木特性



③ ヒペリクム

(学名: Hypericum L.)

UPOVテストガイドラインを参考とし、審査の運用の結果を踏まえ改正

対象植物：ヒペリクム属(観賞樹)

UPOVTGの対象植物：Hypericum hircinum, H. androsaemum 及び H. x inodorum の3種

改 正 案	現 行
樹姿、樹高、樹幅、枝のアントシアニン着色の有無、枝のアントシアニン着色の強弱、節間長、新葉のアントシアニン着色の有無、新葉のアントシアニン着色の強弱、葉の着生角度、葉の長さ、葉の幅、葉の形、葉の表面の緑色の濃淡、葉の斑の有無、葉の斑の色、葉の斑の模様、葉の横断面の形、葉の先端の形、葉の基部の形、葉の香りの有無、花型、花の大きさ、花弁の長さ、花弁の幅、花弁の形、花弁の色、花弁の開き方、花弁の重なり、花弁の湾曲、やくの色、花柱の長さ、果序の長さ、果序の幅、果序の形、がく片の長さ、がく片の幅、がく片のアントシアニン着色の有無、がく片のアントシアニン着色の強弱、がく片の反り、果序の果実の数、果実の長さ、果実の幅、果実の縦断面の形、果実の横断面の形、果実の先端のくぼみの有無、果実の表面の粗滑(先端部を除く。)、果実の色の区分、果実の主な色、果実の二次色の有無、果実の二次色、果実の基部の白又は緑色部の幅、果実の光沢の強弱、開花期	一 樹姿【樹姿、地下茎の有無、株立性】及び樹高 二 枝の太さ【枝の形、枝の太さ】、枝の色、枝の皮目、分枝性、節間長、葉形【葉全体の形、葉先端の形、葉基部の形】、葉の大きさ【葉身長、葉身幅、葉の厚さ】、葉色【未成葉の色、成葉表面の色、成葉裏面の色、斑の有無、斑のパターン、斑の安定性、斑色、斑色の季節変化】、葉の毛の多少【葉表面の毛、葉裏面の毛】及び葉柄の長さ 三 花房の形【花序のタイプ】、花の向き、花形【花弁の開き方、花弁の重なり、花弁の湾曲、がく片の形】、花の大きさ【花径、花弁の長さ、花弁の幅、花柱の長さ】、花色【花色、がく片の色】、花弁の形【花弁全体の形、花弁先端の形、花弁基部の形】、花弁数、雌雄ずいの形【雄ずいの幅、雄ずいの高さ】、雌雄ずいの色【花糸の色、やくの色】、雌雄ずいの数【花柱の数】、花柄の長さ【小花柄の長さ】、一花房又は一花そう当たりの花数【花茎の花数】、花の香り、果実の形、果実の大きさ【果実の長さ、果実の幅】及び果実の色【果実の色、果期のがく片の色】 四 発芽期、開花期【開花期、開花期間、開花習性】、落葉性、耐寒性、耐暑性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 【 】内は、審査基準で細分化して示している調査項目

UPOVテストガイドラインに対する追加形質

- ①日本で従来から区別性をみる上で重要であった形質：節間長、葉の形、葉の斑の色、葉の斑の模様、花型、花弁の長さ、花弁の幅、花弁の形、花弁の色、花弁の開き方、花弁の重なり、花弁の湾曲、果実の長さ、開花期
- ②既存の形質をより詳細に評価するための形質：果実の二次色の有無、果実の二次色

3. 審査の運用の結果等により改正するもの

- ① こまくさ
- ② アストランティア マヨル
- ③ トルコぎきょう
- ④ プリムラ(在来さくらそうを除く)
- ⑤ てんにんぎく
- ⑥ おしろいばな



3. 審査の運用の結果等により改正するもの

① こまくさ

(学名: Dicentra Bernh.)

既存の区分(属)に含まれる新たな種の出願等に対応した改正

現在までの登録品種は、こまくさ種の1品種のみであり、けまんそう種の品種の出願等に対応して形質を追加。また、UPOVの一般指針に沿って一部の形質を削除

改 正 案	現 行
草丈、株幅、葉群の粗密、地上茎の有無、地上茎の太さ、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の長さ／幅、葉身の表面の地色、葉身の斑の有無、葉身の表面の斑の色、葉身の切れ込みの強弱、葉身の白粉、小葉の裂片の幅、葉柄の長さ、葉柄の色、花序の型、一花序の花数、花茎の長さ、花茎の太さ、花茎の色、花序軸の長さ(根出花茎の品種に限る。)、花の長さ、花の最大幅、花の長さ／最大幅、花の最小幅、花の最大幅／最小幅、がく片の色、外花弁の外面の色、外花弁の先端部の内面の色、外花弁の先端部の長さ、外花弁の先端部の反りの強弱、内花弁の突起部の色	一 草姿【草姿、株張り】及び草丈【開化時の草丈】 二 茎の形状及び葉の形状【葉形、葉身長、葉幅、葉の表面の色、葉の斑入りの有無、葉の白粉の有無、葉の毛じの有無、小羽片のそり、小羽片の長さ、小羽片の幅、小羽片先端のアントシアニンの有無、葉柄の長さ、葉柄の色】 三 花の形状【花序、花の形、花の長さ、花の幅、内外花弁の長さの比、外花弁の複色の有無、外花弁外面の色Ⅰ、外花弁外面の色Ⅱ、外花弁内面の色、内花弁の複色の有無、内花弁外面の色Ⅰ、内花弁外面の色Ⅱ、花茎1本当たりの花数、がくの色、花茎の太さ、花茎の長さ、花茎のアントシアニンの有無、花軸の長さ、小花柄の長さ】、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。)&及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) 四 品質特性 五 早晩性【開花の早晩、開花期間】、ねん性(不ねん現象のあるものに限る。)、環境耐性【越冬性、越夏性】、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、根部を利用するものにあつては根の形状、主に食用としてデンプン源、タンパク源等として使用するものにあつては収量性、台木用品種にあつては接ぎ木特性



② アストランティア マヨル

(学名 : Astrantia major L.)

既存の区分(属)に含まれる新たな種の出願等に対応した改正

本植物は、過去に出願はあったが登録された品種はない。アストランティア マヨル種の品種の出願があったことに対応するとともに、UPOVの一般指針に沿って形質を整理

改 正 案	現 行 (アストランティア属)
草丈、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の斑の有無、葉身の頂裂片の長さ、葉身の頂裂片の幅、花茎の太さ、花茎の緑色の濃淡、花茎のアントシアニンの着色、花柄の長さ、総ほうの直径、総ほう片の長さ、総ほう片の幅、総ほう片の最大幅部の位置、総ほう片の表面の緑色部の分布、総ほう片の表面の主な色、総ほう片の表面の二次色の有無、総ほう片の表面の二次色、頭花の直径、小花柄の色、花弁の色、子房のアントシアニン着色の有無	一 草姿及び草丈 二 茎の形状及び葉の形状 三 花の形状、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。)及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) 四 品質特性 五 早晚性、ねん性(不ねん現象のあるものに限る。)、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、根部を利用するものにあっては根の形状、主に食用としてデンプン源、タンパク源等として使用するものにあっては収量性、台木用品種にあっては接ぎ木特性

③ トルコぎきょう

(学名: Eustoma grandiflorum (Raf.) Shinnery)



新しい品種グループや新しい特性を持った品種の出願に対応した改正
(多花性品種、矮性品種、複色品種及び新しい花弁の形状の品種の出願に対応)

改 正 案	現 行
草丈、茎の節数、 <u>側枝の数、側枝の位置、葉の着き方、葉の長さ、葉の幅、葉の形、葉のろう質、葉の表面の緑色の濃淡、花らいの数、小花柄の長さ、がくの長さ、がくのアントシアニン着色の有無、花型、花の直径、花の形、花弁の数(八重品種に限る。)、花弁の長さ、花弁の幅、花弁の形、花弁の先端の形、花弁の周縁の波打ちの強弱、花弁の周縁のフリンジ、花弁の表面の色数、花弁の表面の色(単色品種に限る。)、花弁の表面の主な色(2色以上の品種に限る。)、花弁の表面の二次色(2色以上の品種に限る。)、花弁の表面の二次色の面積の大きさ(2色以上の品種に限る。)、花弁の裏面の主な色、花弁の表面の基部の色数、花弁の表面の基部内側の色、花弁の表面の基部外側の色(基部の色が2色以上の品種に限る。)、雌ずいの形、花柱のアントシアニン着色の有無、開花始期</u>	草丈、茎の節数、 <u>分枝の位置、葉の着き方、葉の長さ、葉の幅、葉の形、葉のろう粉の多少、葉の表面の緑色の濃淡、花らいの数、花型、花弁の数(八重品種に限る。)、花の直径、花の形、花弁の長さ、花弁の幅、花弁の先端の形、花弁の周縁の波打ちの強弱、花弁の周縁のフリンジ、花弁の色数、花弁の表面の色(単色品種に限る。)、花弁の表面の主な色(複色品種に限る。)、花弁の表面の二次色(複色品種に限る。)、花弁の表面の二次色の面積の大きさ(複色品種に限る。)、花弁の表面の模様(複色品種に限る。)、花弁の裏面の色、花弁の表面の基部の色、がくの長さ、がくのアントシアニン着色の有無、花柄の長さ、雌ずいの形、開花始期</u>

3. 審査の運用の結果等により改正するもの

*



④ プリムラ(在来さくらそうを除く。)(学名: Primula L.)

新しい品種グループや新しい特性を持った品種の出願に対応した改正

〔種間雑種の出願に対応して、現在4つの審査基準に定められている調査項目を統合。さらに、バラ咲き等の新たな特性の品種への対応等を図るとともに、UPOVの一般指針に沿って形質を整理〕

改 正 案	現 行
草丈、花序の数、葉柄の有無、葉柄の長さ、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の長さ／幅、葉身の長さ／葉柄の長さ、葉身の最大幅の位置、葉身の裏面のアントシアニン着色の有無、葉身の切れ込みの深さ、葉身の切れ込みの粗密、葉身の周縁の波打ち、葉身の表面の毛の多少、葉身の裏面の白粉、花序の型、花序の段差の明瞭度、花の向き、花柄の抽出、花柄の長さ、花柄のアントシアニンの着色、花柄の毛の多少、がくの長さ、がくの幅、がくの白粉、花型、花の大きさ、花冠裂片の数、花冠裂片の向き、花冠裂片の重なり(一重品種に限る。)、花冠裂片の主な色、花冠裂片の裏面の主な色、花色の移行性、花冠の目の有無、花冠の目の大きさ(一重品種に限る。)、花冠の目の色、花冠の蛇の目の有無、花冠の蛇の目の色、花冠の覆輪の有無、花冠の覆輪の大きさ、花冠の覆輪の色、花冠の縞斑の有無、花冠の縞斑の色、花冠裂片の切れ込み、花冠裂片の波打ち、花の香り、開花始期	＜ポリアンサ＞ 一 草型及び草丈【開化時草丈】 二 葉形【葉の縦横比】、葉の大きさ【葉身長、葉幅】、葉色【茎葉のアントシアニン発現程度】、葉の厚さ、葉の毛の多少、葉柄の長さ、葉の着生角度及び葉の裏面の白粉の多少 三 花房の形、花の向き、花形【花の重ね、花弁の重なり程度】、花の大きさ【花径】、花色【花色(表面)、花色(裏面)、花の中心部の目の色、花の中心部の目の大きさ、蛇の目の有無、覆輪の有無】、花弁の形【花弁端の切れ込みの程度、花弁の波状の程度】、花弁の厚さ、花弁数、雌雄ずいの長さ、雄ずいの着生位置、がくの形、がくの大きさ【がくの大きさ(高さ)、がくの大きさ(直径)】、がくの毛の多少、がくの内面の白粉の程度、一花房の花数、花柄の太さ、花柄の長さ【開花初期における花梗の抽出の程度】、花柄の毛の多少、花柄の白粉の多少及び花の香り 四 開花期、耐寒性【越冬性】、耐暑性【越夏性】、病害抵抗性及び虫害抵抗性
	＜マラコイデス＞ 一 草型及び草丈【開花時草丈】 二 葉形【葉の縦横比】、葉の大きさ【葉身長、葉幅】、葉色、葉の厚さ、葉の毛の多少、葉柄の長さ【葉柄長、葉身長と葉柄長の比率】、葉の着生角度及び葉の裏面の白粉の多少【葉の白粉の有無及び程度】 三 花房の形【花房における段差の程度、花梗の帯化の有無及び程度】、花の向き、花形【花の重ね、花弁の重なり程度】、花の大きさ【花径】、花色【花色(表面)、花色(裏面)、花の中心部の目の色、蛇の目の有無、覆輪の有無及び程度】、花弁の形【花弁先端の形】、花弁の厚さ、花弁数、雌雄ずいの長さ、雄ずいの着生位置、がくの形、がくの大きさ、がくの毛の多少、がくの内面の白粉の程度【がく片の白粉の有無と程度】、一花房の花数、花柄の太さ、花柄の長さ【中心花梗1段目までの長さ】、花柄の毛の多少、花柄の白粉の多少及び花の香り 四 開花期、耐寒性【越冬性】、耐暑性【越夏性】、病害抵抗性及び虫害抵抗性

【 】内は、審査基準で細分化して示している調査項目

3. 審査の運用の結果等により改正するもの

④ プリムラ(在来さくらそうを除く。) (学名: Primula L.)

改 正 案	現 行
草丈、花序の数、葉柄の有無、葉柄の長さ、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の長さ／幅、葉身の長さ／葉柄の長さ、葉身の最大幅の位置、葉身の裏面のアントシアニン着色の有無、葉身の切れ込みの深さ、葉身の切れ込みの粗密、葉身の周縁の波打ち、葉身の表面の毛の多少、葉身の裏面の白粉、花序の型、花序の段差の明瞭度、花の向き、花柄の抽出、花柄の長さ、花柄のアントシアニンの着色、花柄の毛の多少、がくの長さ、がくの幅、がくの白粉、花型、花の大きさ、花冠裂片の数、花冠裂片の向き、花冠裂片の重なり(一重品種に限る。)、花冠裂片の主な色、花冠裂片の裏面の主な色、花色の移行性、花冠の目の有無、花冠の目の大きさ(一重品種に限る。)、花冠の目の色、花冠の蛇の目の有無、花冠の蛇の目の色、花冠の覆輪の有無、花冠の覆輪の大きさ、花冠の覆輪の色、花冠の縞斑の有無、花冠の縞斑の色、花冠裂片の切れ込み、花冠裂片の波打ち、花の香り、開花始期	<オブコニカ> 一 草型及び草丈【開花時草丈】 二 葉形【葉の縦横比】、葉の大きさ【葉身長、葉幅】、葉色【葉柄のアントシアニンの発現の有無及び程度】、葉の厚さ、葉の毛の多少、葉柄の長さ【葉柄長、葉身長と葉柄長の比率】、葉の着生角度及び葉の裏面の白粉の多少 三 花房の形、花の向き、花形【花の重ね、花弁の重なり】、花の大きさ【花径】、花色【花色(表面)、花色(裏面)、花の中心部の目の色、花色の変化の程度、覆輪の有無】、花弁の形【花弁先端の切れ込みの程度】、花弁の厚さ、花弁数、雌雄ずいの長さ、雄ずいの着生位置、がくの形、がくの大きさ【がくの大きさ(高さ)、がくの大きさ(直径)、がくの毛の多少、がくの内面の白粉の程度、一花房の花数、花柄の太さ、花柄の長さ、花柄の毛の多少、花柄の白粉の多少及び花の香り 四 開花期、耐寒性【越冬性】、耐暑性【越夏性】、病害抵抗性及び虫害抵抗性【虫害抵抗性、プリミンの有無】 <その他> 一 草型及び草丈【開花時草丈】 二 葉形【葉形、葉の欠刻の有無と程度、葉の凹凸の有無と程度、葉身長と葉幅の比率】、葉の大きさ【葉身長、葉幅】、葉色【葉のアントシアニンの発現程度、茎のアントシアニンの発現程度】、葉の厚さ、葉の毛の多少【葉の毛の有無と程度(表面)、葉の毛の有無と程度(裏面)】、葉柄の長さ【葉柄長、葉身長と葉柄長の比率】、葉の着生角度及び葉の裏面の白粉の多少【葉の白粉の有無と程度(表面)、葉の白粉の有無と程度(裏面)】 三 花房の形【花房の形、段咲き性の有無】、花の向き、花形【花弁端の切れ込みの程度、花弁の波状の程度、花の重なり程度】、花の大きさ【花径】、花色【蛇の目の有無、覆輪の有無、花色(表面)、花色(裏面)】、花弁の形、花弁の厚さ、花弁数、雌雄ずいの長さ、雄ずいの着生位置、がくの形、がくの大きさ、がくの毛の多少【がくの毛の有無と程度】、がくの内面の白粉の程度【がくの白粉の有無と程度】、一花房の花数【1茎当たりの着花数、小花梗のつきかた】、花柄の太さ、花柄の長さ【大花梗の第1段花分岐点までの長さ、大花梗の抽出数】、花柄の毛の多少【花梗の毛の有無と程度】、花柄の白粉の多少【花梗の白粉の有無と程度】及び花の香り 四 開花期、耐寒性【越冬性】、耐暑性【越夏性】、病害抵抗性及び虫害抵抗性【虫害抵抗性、プリミンの有無】 【 】内は、審査基準で細分化して示している調査項目



3. 審査の運用の結果等により改正するもの

⑤ てんにんぎく

(学名: Gaillardia Foug.)

審査実績を踏まえ、UPOVの一般指針に沿って形質を整理

改 正 案	現 行
草姿、草丈、株幅、茎の緑色の濃淡、茎中央部の毛の粗密、茎上部の毛の粗密、葉の長さ、葉の幅、葉縁の切れ込みの多少、葉縁の切れ込みの深さ、葉の表面の毛の粗密、葉の表面の緑色の濃淡、花柄の長さ、花柄の太さ、花柄の毛の粗密、総ほうの直径、総ほうのアントシアニン着色の有無、頭花の数、頭花の型、頭花の直径、頭花の舌状花数、舌状花の長さ、舌状花の幅、舌状花の形、舌状花先端の切れ込みの数、舌状花先端の切れ込みの深さ、舌状花の色数、舌状花先端部の色、舌状花中央部の色、舌状花基部の色、花盤の直径(一重及び半八重品種に限る。)、花盤周縁部の色(一重及び半八重品種に限る。)、花盤周縁部の色の幅(一重及び半八重品種に限る。)、花盤中央部の色(一重及び半八重品種に限る。)、開花期	一 草型【草姿】及び草丈 二 茎の太さ【主茎の太さ、一次分枝の太さ】、茎の色【茎の緑色の濃淡】、茎の毛の多少【茎中央部の毛の粗密、茎上部の毛の粗密】、とげの有無、分枝性【一次分枝数】、節間長、葉序、葉形【葉縁の切れ込みの多少、葉縁の切れ込みの深さ】、葉の大きさ【葉の長さ、葉の幅】、葉色【葉の表面の緑色の濃淡】、葉の毛の多少【葉の表面の毛の粗密】、葉柄の太さ及び葉柄の長さ 三 花房又は花穂の形、花の向き、花形【頭花の型、花盤の直径】、花の大きさ【頭花の直径】、花色【舌状花の色数、舌状花先端部の色、舌状花中央部の色、舌状花基部の色、花盤周縁部の色、花盤中央部の色、花盤周縁部の色の幅】、花弁の形【舌状花の長さ、舌状花の幅、舌状花の型、舌状花先端の切れ込みの数、舌状花先端の切れ込みの深さ】、花弁数【舌状花の数】、がくの形、がくの大きさ【総ほうの直径】、がくの色【総ほうのアントシアニン着色の有無】、雌雄ずいの形、雌雄ずいの数、やくの色、花柄の太さ、花柄の長さ【花柄の長さ、花柄の毛の粗密】、一花房又は一花穂当たりの花数【頭花の数】及び花の香り 四 開花期【抽だい期、開花期】、耐寒性、耐暑性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 【 】内は、審査基準で細分化して示している調査項目



3. 審査の運用の結果等により改正するもの

⑥ おしろいばな

(学名：Mirabilis jalapa L.)

審査実績を踏まえ、UPOVの一般指針に沿って形質を整理

改 正 案	現 行
草型、株の高さ、茎の太さ、節間長、茎の緑色の濃淡、茎の節部の着色の有無、茎の毛の多少、一次側枝の型、一次側枝の数、葉序、葉の長さ、葉の幅、葉の長さ／幅、葉の先端部の形、葉の基部の形、葉の緑色の濃淡、葉の毛の多少、葉柄の長さ、葉柄の太さ、花の数、花柄の長さ、花の直径、ほうの長さ、ほうの幅、ほうの形、ほうの着色の有無、がく片の色、がく片の模様の有無、がく片の模様の種類、がく片の模様の色、がく筒の長さ、雄ずいの色、雌ずいの色、花の香りの有無、開花始期	一 草型及び草丈【株の高さ】 二 茎の太さ、茎の色【茎の色、茎の節部の赤色の着色の有無】、茎の毛の多少、分枝性【一次分枝の型、分枝数】、節間長、葉序、葉形【葉の形、葉の先端部の形、葉の基部の形】、葉の大きさ【葉の長さ、葉の幅】、葉色、葉の毛の多少及び葉柄の長さ【葉柄の長さ、葉柄の太さ】 三 花房又は花穂の形、花の向き、花形【花冠の形】、花の大きさ【花冠の直径】、花色、花弁の形、花弁数、がくの形【がく片の切れ込み、ほうの形】、がくの大きさ【がく筒の長さ、ほうの長さ、ほうの幅】、がくの色【がく片の色、がく片の模様の有無、がく片の模様の種類、がく片の模様の色、ほうの着色の有無】、雌雄ずいの形、雌雄ずいの色【雌ずいの色、雄ずいの色】、雌雄ずいの数、花柄の長さ、一花房又は一花穂の花数【花冠の数】及び花の香り【花の香りの有無】 四 発芽期、開花期【開花始期】、耐寒性、耐暑性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 【 】内は、審査基準で細分化して示している調査項目

植物写真 出典

* 印 : <http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/BotanicalGarden/BotanicalGarden-F.html>

* * 印 : <http://kusabanaph.web.fc2.com/index.html>